

(2) 委員からの情報提供「空間利用」

## 黒田委員

「子どもたちによる矢田地区の

大和川河川敷自然公園づくりについて」 配付資料

- ・ 万葉集の鮎の歌
- ・ 空間利用「子どもたちによる矢田地区の大和川河川敷自然公園づくりについて」

万葉集の鮎の歌

三三三〇 隠来之長谷之川之上瀬尔 ……

三三六〇 小治田之年魚道之水平間無曾 ……

(庶務追記)ホームページ掲載にあたり、著作権等の問題があるためこのページのみ差し替えています。

配布資料は残部の範囲内で提供いたしますので、庶務までお問い合わせ下さい。

郵送ご希望の方は送料をご負担していただきます。( )

空間利用 「子どもたちによる矢田地区の大和川河川敷自然公園づくり」について

報告者 黒田伊彦 委員

年 月	大和川自然公園づくりの歩み	関	連	事	項
1972.10	部落解放矢田地区第4回研究集会で、大和川左岸河川敷の自然づくりを提起				
1981.11	第8回地区研究集会で「河川敷の廃車放置は差別を助長する」と早急な撤去と自然公園づくりを決める 小学生用「わたしたちと大和川」中学生用「大和川を考える - 大和川自然公園を実現しよう -」を刊行				
					
	大和川副読本				
1982.2.9	矢田教育共闘会議が自然公園の為の河川整備を近畿地建と交渉	1982.8.1,8.3		今井戸川ポンプ設置のための切削部より逆流し大水害起こる	
					廃車置き場（大和川左岸）
					また大雨 松原全市で1万戸浸水 1人死に1人重傷
1983.	大阪市、第1次計画案を提示				洪水の写真（1982年8月3日毎日新聞夕刊より）
1984.	副読本「洪水のないきれいな大和川に」（中学生用）刊行	1984.2.22		第1回大和川サミットで総合治水対策協議	
1990.2.17	第1回大和川子ども会議 矢田7校の児童会・生徒会80人が大和川工事事務所森川副所長らと交渉	1985		大和川クリーンキャンペーン開始	
		1985.5.22		大和川に酸欠により魚大量に浮く	
		1990.2		ヘドロ除去を行う	
1991.2.16	第2回大和川子ども会議 子ども2659人のアンケートでせせらぎのある自然公園づくりを大和川工事事務所長へ要求 所長は未買収地ありと回答、矢田総合計画委員会委員長へも要求				
1994.8.20	大阪市第2次計画案を提示				
1995.1.28	第3回大和川子ども会議 71人が総合計画委員長（支部長）と交渉				

年 月	大和川自然公園づくりの歩み	関 連 事 項	
1995	大和川左岸河川敷の豚舎・自動車廃車置場を強制代執行で撤去する		
1996.2.18	大阪府の「子ども環境水サミット」で子ども19人が横山ノック知事に水質浄化促進を訴える	1996.11.13	第2回大和川サミット 横山ノック知事ら合併浄化槽設置促進 3/2 ゴミ拾いを協議 水質 16.2mg/l 全国ワースト1
1996.	今池遺跡を大和川左岸で発掘はじまる		
1998.2.28	今池遺跡発掘説明会 5～6年 自然公園づくり延期		
2003.3	大阪市が大和川自然公園第3事案を提示		

### 「矢田の大和川自然公園づくり」の特色

大和川左岸の河川敷の豚舎、自動車廃車置場の占拠は部落差別を助長さすので、早急な撤去を要求する住民の行政交渉。

「子どもが変われば、親が変わり、親が変われば、地域が変わる」状況が作り出されてきた。矢田の4小学校、3中学校、計7校の児童会、生徒会が連携して、大和川子ども会議で行政交渉をし、親をつき動かしている。街づくりの力として子どもが登場して来ている。

大和川への想いが、学習・啓発活動によって深められてきている。大和川クリーンキャンペーン絵と作文の応募は大阪の約6割～4割。4/17「春ごと」で約800人が大和川で遊ぶ。大和川付替工事と矢田部落の起りの副読本による学習活動、水生生物観測会などの「大和川子ども祭り（9月）」各小・中学校巡回クリーンキャンペーン入賞作品展示（5月～7月）とPTA総会での展示。大和川汚染問題の学習活動など地域と学校が結びついている。

子どもの主体的活動の場を設定し、親と地域活動を結びつける教師集団の意識的な取り組みがある。それを支えたのは矢田同和教育推進協議会大和川部会であった。歴史資料室にはクリーンキャンペーンの入賞作品、汚染状況、大和川付替関係資料が常時展示されて各学校の見学学習の場となっていた。

# すいしん

編集 矢野 洋  
発行 矢野 洋  
大阪府東淀川区矢野  
5丁目8-14  
矢野印刷会館内  
(097) 3311

第123号

1982年3月3日

## みんなの力で 大和川自然公園を實現しよう

### 矢野教育共闘 河川敷の未整備は差別を助長 会議が行政交渉

昨年十一月開かれた、第八回地域解放矢野地区研究集会は、矢野の教育運動がかかえる数多くの課題を明らかにしておりました。

地区研究委員会ではこれを、「今後の方向と課題」として明らかにし、今後、それぞれの関係組織及び個人が、具体的にとりくむことを要請しています。

(「すいしん」(二二頁参照))  
このうち、特に大和川の自然公園化と田矢野小の跡地



大和川自然公園の模範をばさんで行政交渉する 矢野教育共闘会議 (2月9日開校会館で)

二月九日、午後二時から、然公園化に関する矢野教育共闘会議で大和川自然公園化と関係行政当局

利用については、その後、教育共闘会議、教育費を無償にする等、総合計画委員会でお話しがはじまり、また、この二月九日には、大和川自然公園化についての教育共闘会議の行政交渉もおこなわれました。

今後、これらの課題については、矢野の住民ぐるみの大衆的運動を第一層としていかねばなりません。そのために、大和川自然公園化、田矢野小跡地問題についての最近の動きを、調査したいと思っています。

局との行政交渉がおこなわれました。行政側からは、建設省近畿地方建設局大和工事業務所小田畑管理課長、藤本用地課長、大阪府環境衛生部水質課樋口課長代理、大阪府環境保健所環境部、同公園局、同和村支部から、関係課長が出席。また、教育共闘会議からは、西園智雄以下、各組織の代表が出席しました。

まず、教育共闘会議より、次のとおり問題提起を行いました。

## 水質の浄化に本腰いれてとりくめ 奈良県とも連携をとり

### 奈良県とも連携をとり

(1) 大和川自然公園化計画は、きのうやきょうはじまったことではなく、十年以上もまえから、矢野に對する差別意識をあらわに拡大再生産してゆくことにある。

(2) 矢野では、一昨年の第一回矢野のまつり、昨年の第八回地区研究で大和川自然公園化についての住民の学習運動を行い、早期実現への要求が非常に

み上げられた状態で放置されている。

(3) このような状態のままにしておくことは、部落に對する差別意識をあらわに拡大再生産してゆくことにある。

(4) 矢野では、一昨年の第一回矢野のまつり、昨年の第八回地区研究で大和川自然公園化についての住民の学習運動を行い、早期実現への要求が非常に

川自然公園化についての住民の学習運動を行い、早期実現への要求が非常に

期実現への要求が非常に

第八回地区研究での課題をうけて、二月五日夜、矢野教育共闘会議の幹事会が、解放会館で開かれました。

会議には、部落解放同盟矢野支部・労働組合(教組・市職)PTAの代表が出席。このなかで、大和川

## 流域住民と共にとりくむ 教育共闘会議幹事会で

自然公園化については、水質の浄化と河川敷の公園化について大和川流域との交渉を二月九日に開かれました。

流域の住民をまきこんで反公害の一大住民運動を具體的に基めていくこと、そ

高まっている。(5) 以上の経過をよまえ、近畿地連をはじめとする行政当局に對して、(1)基本構想、(2)とりくみの経過、(3)今後どうするか、(4)別を通じて、今後、全力をあげて買収していく。

左岸(松原より)は一四五〇〇平方メートルが未買収になっている。(2)未買収地で中古車が放置されていることは、差別に過ぎない。今後、全力をあげて買収していく。

明らかになりました。これらについては、全力をあげて、行政指導をしていくことを確認しました。

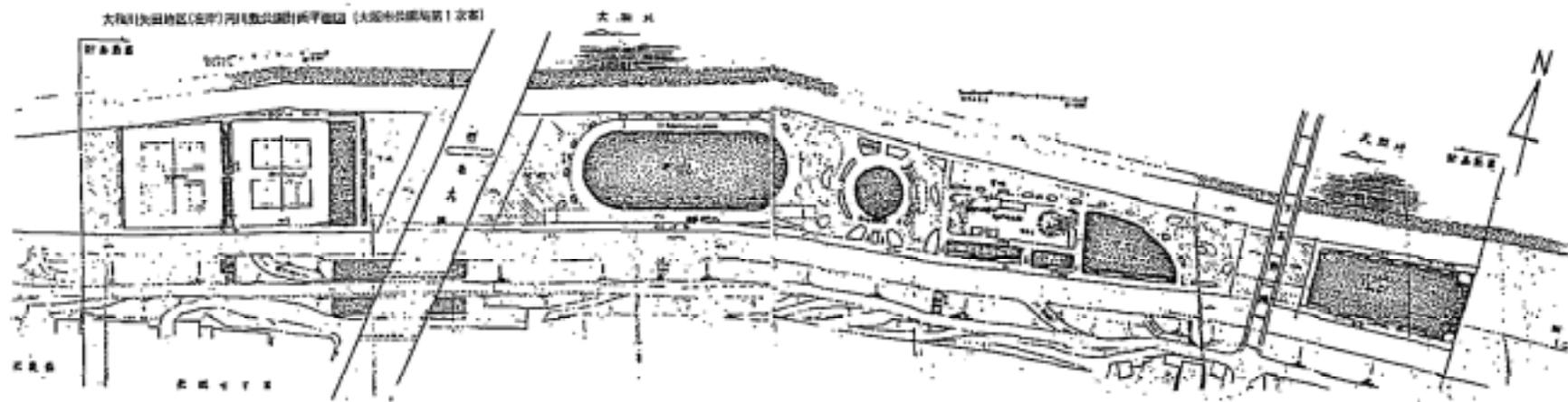
よう説明を求めました。これにたいして、近畿地連は、河川敷の一部が今なお用地買収も含め未整備の状態であるが今後鋭意努力すると次のように約束しました。

次に、水質をよくする。ことについては、府環境衛生部より、とりくみの経過と現状の説明がありましたが、工場排水、家庭排水の規制を関係市町村とともに強めているが、大和川流域での下水道の整備が遅れ、ほとんど下流の状況であること、さらに、事業所の汚水処理が不十分であることが

区研で確認されたように子どもの活動の場として計画していくこと、そのために、当面は教育共闘会議に加盟のPTAをはじめ各組織内でどんなものをつくれたいのかの大家討論をしていくことを確認しました。

## (5) 大和川自然公園の案を検討しよう

- 祖母　今の和川は昔に比べると、洪水と死の川になってしまった。今年もまた全国でワースト2じゃ。
- 父　おばあちゃん、この前の交渉で、大阪府の知事さんが「奈良県に働きかける」と約束したし、大和川の河川敷を買収し、自然公園化することも約束させてきたし、運動はこれからだよ。
- 和子　大和川自然公園の案ができたんじゃないの。
- 父　うん、行政第一次案ができたよ。
- 和子　わあー　ほんと、みせて。
- 祖母　お父さんや、いま、解体屋の自動車が集めてあるところかね。
- 父　そうですよ、おばあちゃん。これを見たら、行基橋の西(下流)にはバレーボールコート2面とテニスコート2面があるよ。
- 和子　行基橋の東(上流)にあるこのだ円形のトラックは何mなの。



- 父　一周200mで堤防側に100mの直線コースがあるんだ。
- 和子　この真ん中の丸いのは、ローラースケートのできるころなのね。
- 祖母　その隣りは花壇じゃね。下高野大橋の左右は芝生だね。
- 母　大和川の水辺はがけみたいになっているけど、これでは子どもは遊べないわ。
- 父　この案は、国(建設省)の用地買収が終わったら公園にして管理する大阪市の公園局が試みに作ったものなんだ。
- 母　これから子どもや親・先生の意見もきいてどんどん新しい案をつくっていくわけね。
- 父　そうなんだ。和子はこの案どうかね。
- 和子　大和川の水をひいて、小川にして水遊びができるとか、魚つりができるところなんかほしいわね。男の子なんか200mのトラックより、サイクリングロードやモトクロスのできる小山がほしいんじゃないのかなあ。



# みんなの力で自然公園をつくろう



次々で子どもからの質問

第三回大和川子ども会議  
去る二月二十八日(土)、矢田七校の子ども達三二名の参加で、大和川子ども会議が行われました。一九九〇年に第一回子ども会議が開かれ、今回が三回目です。

### 聞かれる

公園の申身について具体的なアンケートを取りました。そして、「矢田のまつり」でそのアンケートの結果を展示すると共に、見学者に自分たちの希望する公園の絵を描いてもらいました。

## 大和川部会

公園ゾーン計画が完成されました。これら成果を今夏の子どもの会場で発表し、さらに参加した子ども達から矢田部会としていきます。

同部会大和川部会では、子ども達の声を公園づくりの参考にしたい。昨年十一月に、昨年十一月に、

公園の申身について具体的なアンケートを取りました。そして、「矢田のまつり」でそのアンケートの結果を展示すると共に、見学者に自分たちの希望する公園の絵を描いてもらいました。



意見に答える環境設計委員長

和川の水は飲めた。アユなどきれいな水にしか性のない魚もたくさん泳いでいて、よく釣りをしたものだ。様々な法的制限はあるが、みんなの声を聞き入れながら公園づくりを進めたい。また一日も早く昔のような大和川に戻るようにがんばる。と力強く応えました。

## 大和川「かっぱ探検隊」による横山知事への提言 子ども水環境サミット大成功！



4編委員の作文を読み上げる(左から)と矢田北小、東小の子供たち

び掛けで矢田の四小学校から十九人の子ども達が集まり、これまで学習してきた内容をまとめて発表しました。

サミットは①生活排水対策ポスターの表彰式、②谷幸三さんによる講演「大和川の水辺」

河内長野・羽曳野・柏原の子どもたちも参加

「かっぱ探検隊」(大阪府水質調査団)に参加した感想や意見を発表する。子ども水環境サミットが、二月十八日(日)大阪市立自然史博物館で行われ、大和川・環境部会の呼

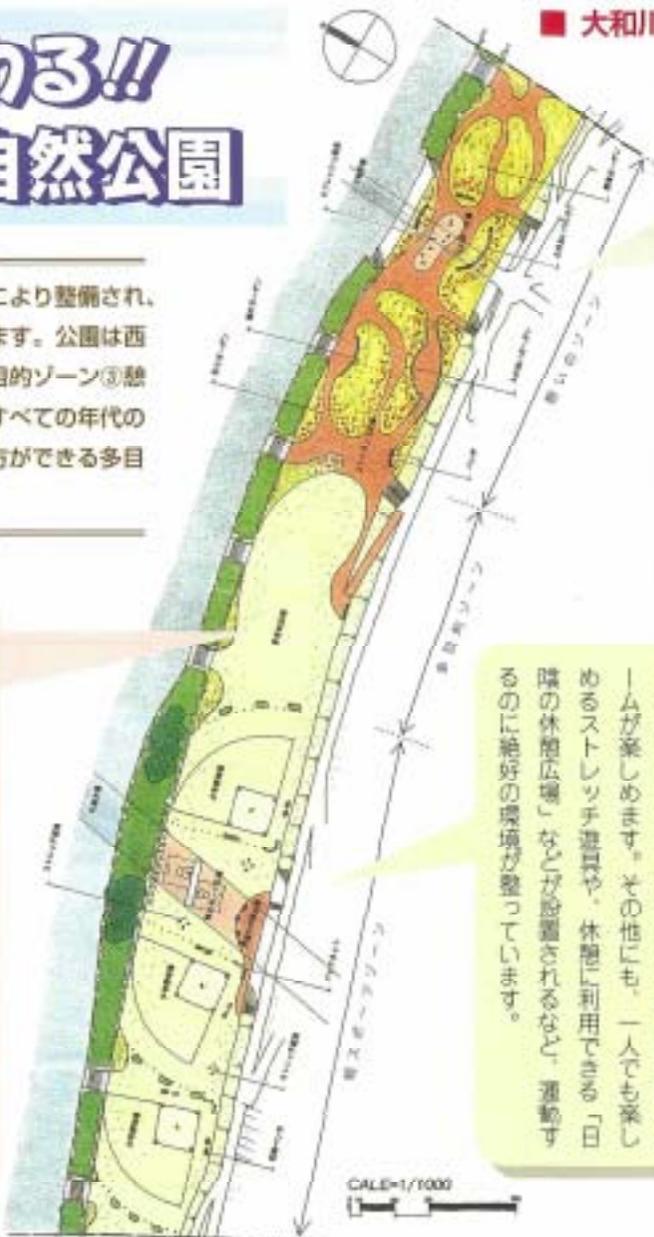
と優秀賞の矢田牧子さん(矢田北小四年)が自分の作文を愛々と読みあげました。さらに「絵」の部で最優秀賞の橋岡愛さん(矢田北小三年)と優秀賞の津口優作くん(矢田西小四年)が絵を描いた時の気持ちをビデオの中で発表しました。また「作文」最優秀賞の豊富里美さん(矢田西小六年)もビデオの中で作文を読みました。

ゴミをもう捨てないで！ 続いて大和川・環境部会で十月に取り組んだ。水生生物調査の模様をビデオで報告し、矢田北小が大和川の汚染の原因について学んだことを発表しました。「かっぱ探検隊」で空街やゴミ拾いをしたけど、ゴミがいっぱいあったので、もう捨てないでほしい。そして家庭から出た水を用へ減さないでほしいです。そのためには合併浄化槽をつけることや、合成洗剤をやめてセッケンを使うことが大切だ」と矢田東小学校の子ども達が提言しました。近目中に横山ノック知事の返事がくる予定です。

# 生まれ変わる!! 大和川自然公園

大和川南側の河川敷が大阪市により整備され、新しい公園として生まれ変わります。公園は西側から①軽スポーツゾーン②多目的ゾーン③憩いのゾーンの3つに分けられ、すべての年代の人にとって、さまざまな楽しみ方ができる多目的スペースとなる予定です。

## ■ 大和川南公園基本計画図(案)



### 憩いのゾーン

公園の東側に位置するこのゾーンには、彩りのガーデン、風のガーデン、ふれあいガーデン、野草ガーデンが設置され、様々な草花が植えられる予定です。散歩をしながら四季折々の草花の香りを楽しめ、また、疲れたときには、とろとろで設置されるベンチに腰かけていたたぐこともでき、のんびりとした時間を楽しむことができます。癒しのスペースとなっています。

### 軽スポーツゾーン

公園の西側に位置するこのゾーンには、スポーツを楽しむための様々な設備が整ったスペースとなっています。本格的な少年野球場が矢田行基大橋の西側に2面、東側に1面の合計3面設置されます。これらすべての野球場は、グラウンドの方向や、ベンチの工夫等々で安全性と利便性に配慮したものとなっています。また、行基大橋下にはハーフバスケットコートが2面設置され、バスケットボールのミニゲームが楽しめます。その他にも、一人でも楽しめるストレッチ遊具や、休憩に利用できる「日陰の休憩広場」などが設置されるなど、運動するのに絶好の環境が整っています。

### 多目的ゾーン

公園の真ん中に位置するこのゾーンには、多目的広場が設置されます。ここにはその名のとおり、いろいろなことに使える広大なスペースが広がっており、サッカーのミニゲームやスケートボード、ゲートボールやドッジボール、さらには集まって、その他利用者のアイデアによって様々なことができる優れた広場となっています。